

シルバー通信

SA 連協だより

「NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット
大阪」設立に際し SA 連協はいかに対処
すべきか？

SA 連協理事長 窪田泰之

平成 16 年 9 月から NPO 設立準備委員会で討議を重ね、18 年 3 月度理事会で承認されました。同年 9 月 1 日に法人登記を済ませ「特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪（理事長 久保昌之）」としてスタートする事になりました。

そこで SA 連協の委員会組織であった CB 委員会、SA ハートケアボランティア（大阪府立介護情報・研修センターでの介護機器展示説明）、NPO 委員会と NPO 委員会の事業として先行して活動してきた「おもしろ算数教室」、「国際交流委員会の活動事業」など NPO 法人の事業として「シルバーアドバイザー・ネット大阪」に移り、SA 連協の委員会組織から外れる事となりますので、会員の皆様が不安な気持ちや戸惑いを感じないためにも NPO 法人との話し合い調整を進めていかなければならないことも数あることと思っております。

SA 連協は、会則上あいまいだった事業活動を NPO 法人に託し、23 ある地区 SA の連絡調整機関の役割を果たすと共に、活動の原点でもある大阪府シルバーアドバイザー養成講座のあり方、シルバーアドバイザーの称号のあり方など渉外委員会で討議を重ねたものを尊重しながら役員会及び理事会で討議して、大阪府に提議し、より良い団体に作り変えていかなければならないと考えます。

ボランティア活動は SA 養成講座を修了しなくても出来るのですが、われわれ SA 養成講座終了者は 1 年間ボランティア活動に何が必要かを仲間と共に学んできたのです。今地域で必要としている地域福祉の問題点は

第 37 号の 2 （平成 18 年度－2 号）

2006 年 11 月発行

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 〒567-0825 吹田市山田北 3-1

大阪府老人総合センター

TEL 06-6876-0031

U R L <http://sa-renkyo.com>

何か？私たちの今の活動でそれらを解決できるのか、周囲を見回す余裕と冷静さを必要としますが、SA 修了者である我々だからこそ見えてくると信じております。

そのようなとき NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪の事業活動が SA 連協との連携で相乗効果が期待できる場合もあるでしょうし、そうした場合に頼りになる組織に育てていかなければ NPO 法人化した意味もありません。なぜならば NPO 法人は大阪府下の福祉課題解決のために SA 養成講座を終了した SA メンバーだけに限らず、団塊の世代や若い人たち、外国人も含めた SA 以外の人や組織の集合体の法人組織となるのですから。

地区 SA 及び SA 連協にとっても血となり肉となる地域社会の役に立つ NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪に育てましょう。そして 930 名の SA 連協会員はなんらかの形で関わって欲しいと希望致します。

